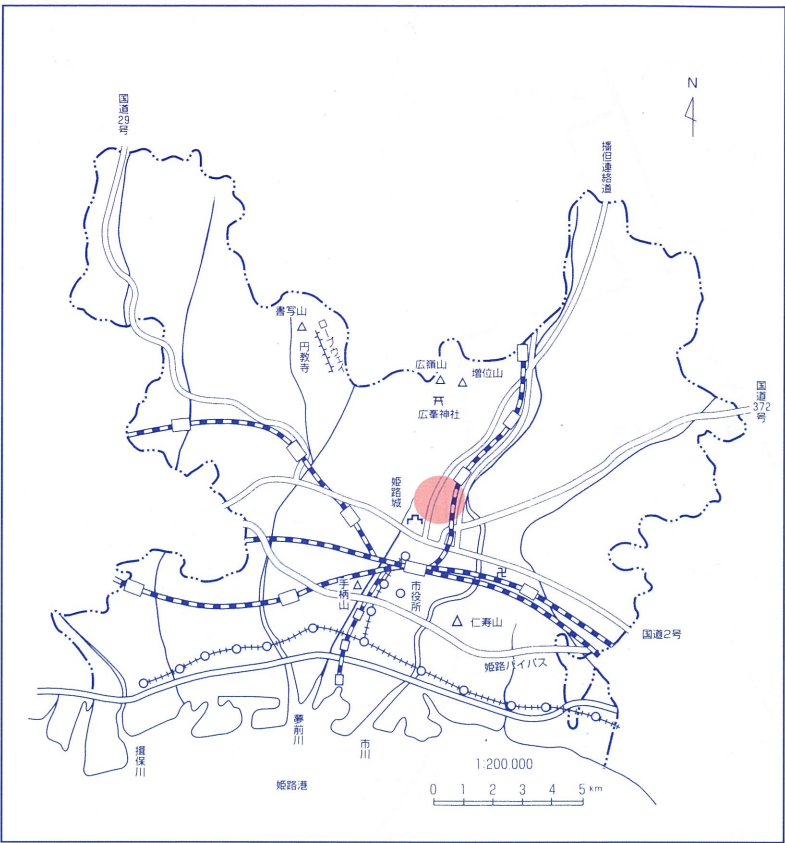


文化財をたずねて  
**野里地区めぐり**



**交通案内**

神姫・市営バス停博物館前下車（JR姫路駅から約2kmの地点）

**コース案内**

バス停博物館前（500m）— 鷲の清水（3200m）—  
清水地蔵（700m）— 誓光寺（800m）—  
雲松寺（500m）— 正願寺（500m）—  
日吉神社（1100m）— 最明寺（1000m）—  
大歳神社（7000m）— 固寧倉（500m）—  
慶雲寺（2000m）— 姫路城外濠跡碑（5000m）— バス停野里門  
\*文化財の見学はマナーを守り迷惑をかけないようにしましょう。

**表紙説明**

姫路市教育委員会城郭研究室所蔵「承応二年（一六五三）播州飾磨郡姫路城内惣社伊和大明神臨時祭之画図」部分。野里地区は中世以来播磨国総社の氏子地区であり、「惣社走馬之記」には大永年中（一五二二〜二八）に「野里農長」や「野里村長」が走馬神事を奉仕している。

平成18年3月1日 姫路市教育委員会 発行  
姫路市文化財保護協会

身で築建の前はそれによって建てられてきた。この地区は、中世以来播磨国総社の氏子地区であり、「惣社走馬之記」には大永年中（一五二二〜二八）に「野里農長」や「野里村長」が走馬神事を奉仕している。

この地区は、中世以来播磨国総社の氏子地区であり、「惣社走馬之記」には大永年中（一五二二〜二八）に「野里農長」や「野里村長」が走馬神事を奉仕している。

この地区は、中世以来播磨国総社の氏子地区であり、「惣社走馬之記」には大永年中（一五二二〜二八）に「野里農長」や「野里村長」が走馬神事を奉仕している。

この地区は、中世以来播磨国総社の氏子地区であり、「惣社走馬之記」には大永年中（一五二二〜二八）に「野里農長」や「野里村長」が走馬神事を奉仕している。

この地区は、中世以来播磨国総社の氏子地区であり、「惣社走馬之記」には大永年中（一五二二〜二八）に「野里農長」や「野里村長」が走馬神事を奉仕している。

この地区は、中世以来播磨国総社の氏子地区であり、「惣社走馬之記」には大永年中（一五二二〜二八）に「野里農長」や「野里村長」が走馬神事を奉仕している。

この地区は、中世以来播磨国総社の氏子地区であり、「惣社走馬之記」には大永年中（一五二二〜二八）に「野里農長」や「野里村長」が走馬神事を奉仕している。

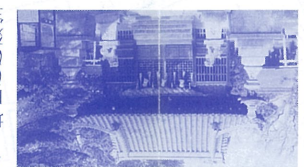
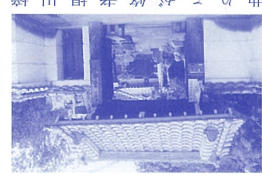
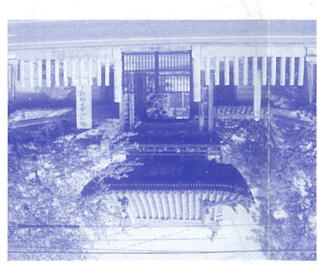
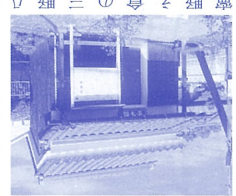
この地区は、中世以来播磨国総社の氏子地区であり、「惣社走馬之記」には大永年中（一五二二〜二八）に「野里農長」や「野里村長」が走馬神事を奉仕している。

この地区は、中世以来播磨国総社の氏子地区であり、「惣社走馬之記」には大永年中（一五二二〜二八）に「野里農長」や「野里村長」が走馬神事を奉仕している。

この地区は、中世以来播磨国総社の氏子地区であり、「惣社走馬之記」には大永年中（一五二二〜二八）に「野里農長」や「野里村長」が走馬神事を奉仕している。

この地区は、中世以来播磨国総社の氏子地区であり、「惣社走馬之記」には大永年中（一五二二〜二八）に「野里農長」や「野里村長」が走馬神事を奉仕している。

この地区は、中世以来播磨国総社の氏子地区であり、「惣社走馬之記」には大永年中（一五二二〜二八）に「野里農長」や「野里村長」が走馬神事を奉仕している。



文化財をたずねて  
**野里地区めぐり**

位牌堂の旧宝珠・露盤  
享保12年(1727)  
鷗尾  
文化14年(1817)  
一字一石法華塔  
寛政〇年仲冬  
三界萬靈塔  
天保10年(1839)



誓光寺の石棺仏と石幢



雲松寺境内の香雪園碑



慶雲寺にある比翼塚



白川神社

隠元禅師の扁額  
寛文12年(1672)  
観音堂の旧宝珠と露盤  
正徳2年(1712)  
五輪塔  
承応2年(1653)  
六十六部供養仏  
享保5年(1720)

西国三十三所観音  
常夜燈  
文久元年(1861)  
井戸組石・手洗石  
嘉永5年(1852)  
石燈籠  
嘉永5年(1852)



旧石鳥居(破損)  
享保9年(1724)  
狛犬  
寛政9年(1797)  
石燈籠(稲荷社前)  
寛延3年(1750)  
常夜燈  
弘化3年(1846)  
手洗石  
明和6年(1769)



修因地蔵  
享保17年(1732)を  
はじめとして年号  
刻銘のものが9体  
手水鉢  
寛延元年(1748)



五輪塔(法蓮羅婆阿)  
寛永3年(1626)  
月心道正禪定門  
石燈籠  
延宝4年(1676)  
正徳元年(1711)  
享保18年(1733)  
宝暦9年(1759)  
常夜燈  
嘉永2年(1849)  
石鳥居  
慶応3年(1867)  
狛犬  
文久2年(1862)  
手洗(境内長壁神社前)  
正徳2年(1712)



「野里鑄物師町」奉納手洗



馬車道(生野銀山道ともよばれ、明治9年に完成)

